

2019年12月期 第2四半期

(2019年1月1日～2019年6月30日)

決算説明会

2019年7月31日
株式会社電通国際情報サービス

COPYRIGHT INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL-DENTSU, LTD.

2019年12月期 第2四半期決算概況

(1) 2019年12月期 第2四半期 連結業績

前年同期比

全事業セグメントが増収。売上高およびすべての利益項目が上期として過去最高を達成

期初予想比

売上高、利益が計画を上回り7/17に業績予想修正発表

中間配当

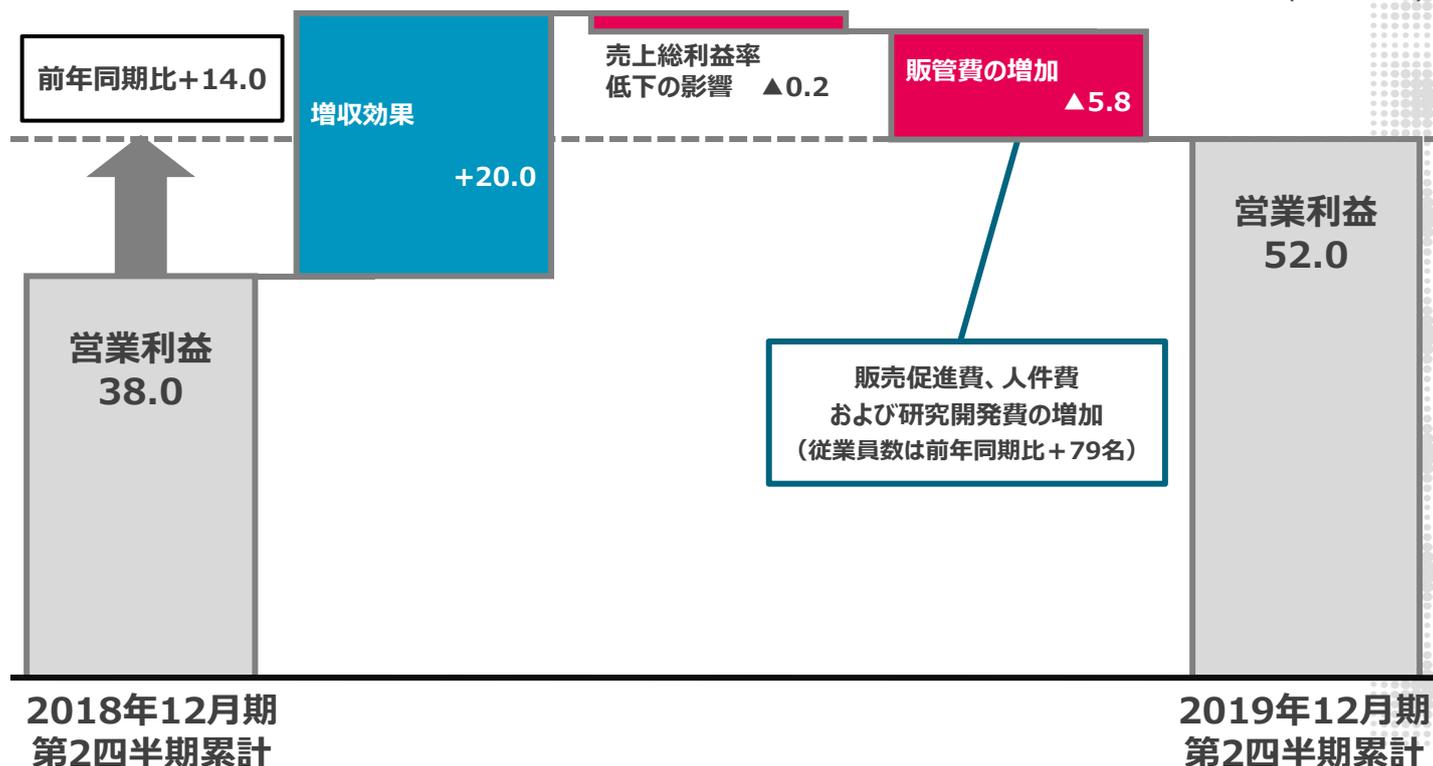
期初予想通り1株当たり35円実施（前年同期比7円増配）

(単位：百万円)

	2019年12月期 第2四半期累計	前年同期比			期初予想 (2019/2/8発表) 比		
		前年同期	増減額	増減率(%)	予想	増減額	増減率(%)
売上高	49,185	43,086	+6,099	+14.2	46,264	+2,921	+6.3
売上総利益	16,232	14,240	+1,992	+14.0	15,618	+614	+3.9
売上総利益率	33.0%	33.1%	▲0.1p	-	33.8%	▲0.8p	-
販売費及び一般管理費	11,027	10,439	+588	+5.6	11,658	▲631	▲5.4
営業利益	5,204	3,801	+1,403	+36.9	3,960	+1,244	+31.4
営業利益率	10.6%	8.8%	+1.8p	-	8.6%	+2.0p	-
経常利益	5,152	3,860	+1,292	+33.5	3,930	+1,222	+31.1
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,412	2,641	+771	+29.2	2,678	+734	+27.4

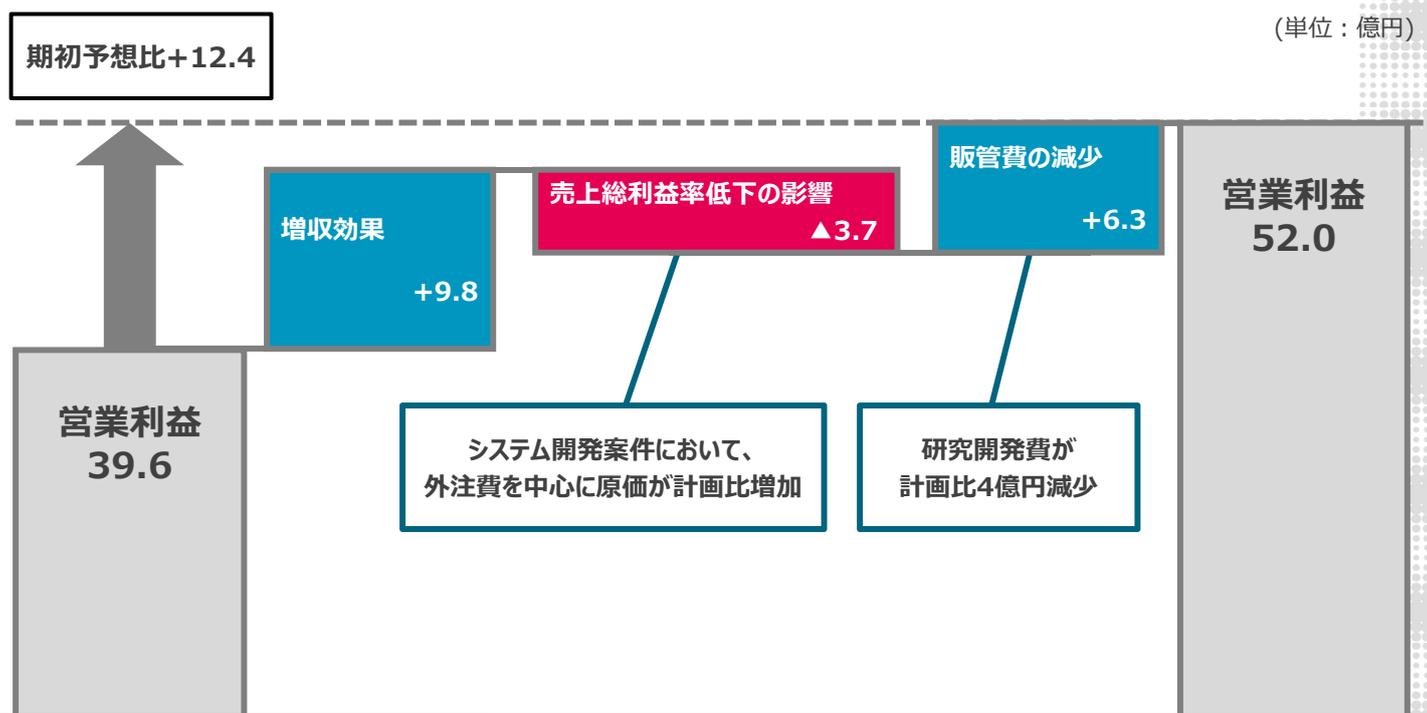
(2)-1 営業利益の増減要因【前年同期比】

(単位：億円)



(2)-2 営業利益の増減要因【期初予想比】

(単位：億円)



2019年12月期
第2四半期累計 予想値
(2019/2/8発表)

2019年12月期
第2四半期累計

iSiD COPYRIGHT INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL-DENTSU, LTD.

5

(3) 事業セグメント別売上高および営業利益

(単位：百万円)

事業セグメント		2019年度 2Q累計	前年同期比		概況	期初予想比	
			増減額	増減率(%)		増減額	増減率(%)
金融ソリューション	売上高	12,240	+1,641	+15.5	政府系金融機関および事業会社向けの案件が拡大し、増収。利益については、システム開発において外注費を中心に原価が増加し、前年同期並み	+545	+4.7
	営業利益	717	+2	+0.3		▲304	▲29.8
	%	5.9%	▲0.8p	-		▲2.8p	-
ビジネスソリューション	売上高	9,572	+1,639	+20.7	「POSITIVE」、 「STRAVIS」、 ERP分野におけるソフトウェアの販売・導入が拡大し、増収増益	+770	+8.7
	営業利益	1,118	+857	+328.4		+609	+119.6
	%	11.7%	+8.4p	-		+5.9p	-
製造ソリューション ※エンジニアリング ソリューションより改称	売上高	15,140	+561	+3.8	CAE、スマートファクトリー領域のソフトウェア、「iQUAVIS」の販売・導入が拡大し、増収。利益については、人員増により人件費が増加し、減益	▲78	▲0.5
	営業利益	1,206	▲127	▲9.5		+160	+15.3
	%	8.0%	▲1.1p	-		+1.1p	-
コミュニケーションIT	売上高	12,231	+2,257	+22.6	電通グループの大型基幹システム更改案件が始まったことに加え、電通グループとの協業ビジネスが公共向けを中心に大幅に拡大し、増収増益	+1,684	+16.0
	営業利益	2,162	+671	+45.0		+780	+56.4
	%	17.7%	+2.8p	-		+4.6p	-

※POSITIVE…人事管理ソリューション STRAVIS…連結会計ソフトウェア CAE…Computer Aided Engineering iQUAVIS…MBSEソリューション

iSiD COPYRIGHT INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL-DENTSU, LTD.

6

(4) サービス品目別 連結売上高

(単位：百万円)

サービス品目	2019年度 2Q累計	前年同期比			期初予想比	
		増減額	増減率(%)	概況	増減額	増減率(%)
コンサルティングサービス	3,597	+377	+11.7	製造ソリューションおよび コミュニケーションITセグメントが拡大	+419	+13.2
受託システム開発	13,912	+3,064	+28.2	金融ソリューションおよび コミュニケーションITセグメントが拡大	+1,636	+13.3
ソフトウェア製品	8,383	+826	+10.9	「POSITIVE」「STRAVIS」 「iPLAss」「iQUAVIS」が拡大	+784	+10.3
ソフトウェア商品	14,713	+1,309	+9.8	Salesforceソリューション、 ERP分野が拡大	+31	+0.2
アウトソーシング ・運用保守サービス	4,613	+255	+5.9	ビジネスソリューションおよび コミュニケーションITセグメントが拡大	+125	+2.8
情報機器販売・その他	3,965	+268	+7.2	製造ソリューションセグメントが拡大	▲74	▲1.8

※ iPLAss…マーケティングプラットフォーム

(5) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2019年 6月30日	2018年 12月31日	対前期末 増減	主な増減要因
流動資産	68,337	64,668	+3,669	前渡金の増加 (+3,374) 預け金の増加 (+1,292) 売上債権の減少 (▲1,211)
固定資産	17,389	15,604	+1,785	関係会社株式の増加 (+1,557)
資産合計	85,727	80,273	+5,454	
流動負債	29,812	26,551	+3,261	前受金の増加 (+2,557) 仕入債務の増加 (+1,715) 未払法人税等の減少 (▲739) 未払消費税等の減少 (▲316)
固定負債	2,765	2,755	+10	
負債合計	32,577	29,307	+3,270	
純資産合計	53,150	50,966	+2,184	利益剰余金の増加 (+2,272)
負債純資産合計	85,727	80,273	+5,454	

(6) 連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	2019年度 2Q累計	今期の主な動き	前年同期比	
			2018年度 2Q累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,797	税金等調整前四半期純利益 (5,097) 前受金の増加額 (2,578) 仕入債務の増加額 (1,723) 前渡金の増加額 (▲3,385)	4,940	+857
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,731	関係会社株式の取得による支出 (▲1,664) 無形固定資産の取得による支出 (▲710) 有形固定資産の取得による支出 (▲228) 投資有価証券の取得による支出 (▲200)	▲1,200	▲1,531
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,587	配当金の支払額 (▲1,140) リース債務の返済による支出 (▲434)	▲1,255	▲332
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲93		▲110	+17
現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	1,385		2,375	▲990
現金及び現金同等物の期首残高	33,620		30,353	+3,267
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,006		32,729	+2,277

(7) 受注高・受注残高

受注高 : 前年同期に受注した政府系金融機関向け案件(65億円)の反動減をカバーし、前年同期並み

受注残高 : 受注が好調に推移し、前年同期比で増加

(単位：百万円)

		受注高		受注残高	
		2019年度 2Q累計	前年同期比 増減率(%)	2019年度 2Q累計	前年同期比 増減率(%)
事業セグメント別 内訳	金融ソリューション	11,967	▲36.1	11,289	▲15.3
	ビジネスソリューション	11,278	+39.8	7,303	+19.1
	製造ソリューション	17,926	+2.7	13,004	+14.9
	コミュニケーションIT	15,044	+22.7	6,861	+1.4
サービス品目別 内訳	コンサルティングサービス	3,494	▲2.4	798	▲14.0
	受託システム開発	14,267	▲26.1	10,233	▲18.0
	ソフトウェア製品	9,842	+32.1	6,055	+16.9
	ソフトウェア商品	18,086	+12.8	14,475	+22.4
	アウトソーシング・運用保守	6,749	+33.9	3,623	+14.9
	情報機器販売・その他	3,775	▲26.0	3,271	▲17.9
	合計	56,216	▲0.5	38,458	+2.4

(8)-1 2019年12月期 業績予想

通期業績予想は2019年2月8日に発表した予想を据え置く

(単位：百万円)

<参考値>

	通期	前期比			通期業績予想に対する上期進捗率
		前期	増減額	増減率(%)	
売上高	93,000	91,024	+1,976	+2.2	52.9%
営業利益	8,500	8,239	+261	+3.2	61.2%
営業利益率	9.1%	9.1%	-	-	-
経常利益	8,408	8,197	+211	+2.6	61.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,683	5,187	+496	+9.6	60.0%

(8)-2 2019年12月期 業績予想 (事業セグメント別)

(単位：百万円)

<参考値>

	通期	前期比			通期業績予想に対する上期進捗率
		前期	増減額	増減率(%)	
金融ソリューション	23,790	23,242	+548	+2.4	51.5%
ビジネスソリューション	17,630	16,810	+820	+4.9	54.3%
製造ソリューション	30,648	29,252	+1,396	+4.8	49.4%
コミュニケーションIT	20,833	21,718	▲885	▲4.1	58.7%
合計	93,000	91,024	+1,976	+2.2	52.9%

(8)-3 2019年12月期 業績予想 (サービス品目別)

(単位：百万円)

<参考値>

	通期	前期比			通期業績予想に対する上期進捗率
		前期	増減額	増減率(%)	
コンサルティングサービス	6,333	6,818	▲485	▲7.1	56.8%
受託システム開発	25,269	24,188	+1,081	+4.5	55.1%
ソフトウェア製品	15,763	15,070	+693	+4.6	53.2%
ソフトウェア商品	29,189	27,261	+1,928	+7.1	50.4%
アウトソーシング・ 運用保守サービス	8,945	9,555	▲610	▲6.4	51.6%
情報機器販売・その他	7,498	8,130	▲632	▲7.8	52.9%
合計	93,000	91,024	+1,976	+2.2	52.9%

2019年度 上期トピックス

ISiD X(Cross) Innovation 2021

テクノロジー、業界、企業、組織、地域などを超えた「X Innovation」の推進を通して、新しい価値を「協創」し、企業理念の実現を目指していく。

基本方針

1. 主力事業の進化

2. 新規事業の創出

3. 事業基盤の革新

人材力の強化

先端技術への
取組み加速

事業支援部門の
付加価値力向上

X(Cross) Innovation の推進 ～新組織の設置

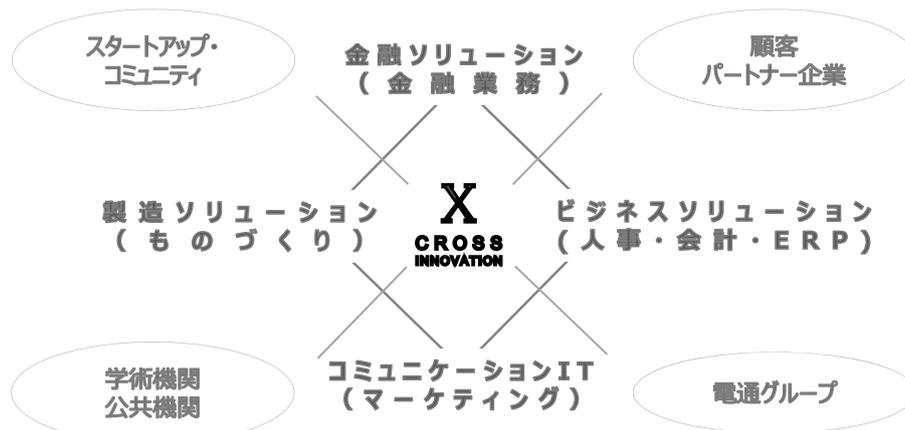
「X イノベーション本部」設置、全社横断タスクフォース「プロジェクトX」発足

X イノベーション本部

- 新規事業創出の加速
- 研究開発機能の強化

プロジェクトX

- 部門を超えた人的交流や情報連携の促進



X(Cross) Innovation の推進 ～出資

金融ソリューションセグメント

三菱地所と合併会社「株式会社FINOLAB」を設立（7月）

- ✓ 出資比率：三菱地所51%、ISID49%
- ✓ 2016年2月に開設したFINOLABの運営組織を法人化
- ✓ スタートアップ会員49社、企業会員12社、登録人数500名超
- ✓ 多様な業種・領域のオープンイノベーションを加速、スピーディーな新規事業創出を目指す

FINOLAB



X(Cross) Innovation の推進 ～出資

金融ソリューションセグメント

インドネシアでITソリューション事業を展開するEbiz Cipta Solusiを子会社化（4月）

- ✓ インドネシアにおける金融機関向け事業の拡大を狙う
- ✓ リース&ファイナンスソリューション「Lamp」ほか各種ソリューションの販売を加速



製造ソリューションセグメント

製造業向けITソリューション事業を展開するスマートホールディングスと資本・業務提携（5月）

- ✓ 自動車業向けシステム開発事業を強化、3D技術の活用等によりCASE対応を支援
- ✓ トヨタシステムズおよび豊田通商も同時出資

X(Cross) Innovation の推進 ～出資

製造ソリューションセグメント

FAプロダクツとスマートファクトリー分野で資本・業務提携（3月）

- ✓ ISiDの設計開発領域における知見とFAプロダクツの製造領域における知見を融合
- ✓ デジタルとリアルの両方に強い「次世代ラインビルダー」を目指す



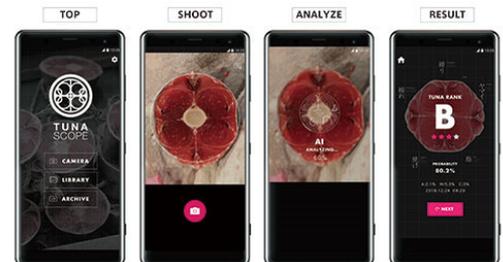
デジタルツインによるシミュレーション上のイメージ

X(Cross) Innovation の推進 ～先端技術への取り組み

X イノベーション本部

職人の能力をAIで継承する「プロジェクト 匠テック」を電通と開始

- ✓ 第1段として、双日、電通との3社共同で、マグロの品質判定を行う画像解析AIシステム「TUNA SCOPE」の実証実験を実施



世界初の「エシカル消費」実証実験をフランスで実施

- ✓ ブロックチェーンにより生産・流通のトレーサビリティが保証された宮崎県綾町産有機ワイン販売の実証実験
- ✓ 来店者の社会や環境に配慮するエシカルな消費行動をSDGsの17ゴールに関連付けて可視化し、トークンを付与する仕組み
- ✓ エシカル消費実践者のみ参加できるトークン・コミュニティを提供



主要プレスリリース <2019年5月～2019年7月>

- 5/21 スマートホールディングスと資本・業務提携
- 5/29 職人の能力をAIで継承する「プロジェクト 匠テック」を電通と開始
 - 6/5 サイバー攻撃のベンダーリスクを可視化する「SecurityScorecard」を提供開始
- 6/10 静岡銀行の住宅ローン事前診断・審査申込ポータルをSalesforceで構築
- 6/11 スポーツ映像配信DAZNに「Amazon Connect」を提供
- 6/12 クラウドCAE事業でRescaleと戦略的提携
- 6/26 人型AIアシスタントの実証実験を東京・調布で実施
- 6/27 「X イノベーション本部」設置及び「プロジェクトX」発足
- 6/28 「テレワーク・デイズ2019」に参加
- 7/11 FinTech 拠点を運営する合併会社「株式会社FINOLAB」を設立
- 7/17 Mizuho Americasの顧客体験強化に向け統合プラットフォームをClouderaと構築
- 7/17 セキュリティ製品「AppGuard」の運用サポート事業でITMと協業